

《2024年7～9月期会員景況感調査報告(全国版)》

総回答数 241社

1. 地域別内訳(事業の中心をおいている地域)(社)

東日本	70	中部日本	81	西日本	90
-----	----	------	----	-----	----

2. 売上(または取扱)商品の中で最もウェイトの高いものの内訳(社)

日用品・雑貨類	24	包装用容器・キャップ	26	電気・電子・通信部品	29
自動車・輸送機器部品	99	住宅関連	17	医療機器	5
その他	34				

3. 従業員の内訳(パートを含む)(社)

20人以下	45	21～50人	65	51～100人	59	101～300人	42
301人以上	16						

4. 今期(2024年7～9月期)の自社業況について(前期比・前年同期比 %)

※網掛けの数字は前回アンケート(2024年4～6月期)の結果です。

※矢印は前期及び前年同期に比較した今期の値を±1%以内の場合(→)・上昇(↑)・下降(↓)で表しています。

	2024年7～9月期(実績)											
	前期(2024年4～6月期)比						前年同期(2023年7～9月期)比					
	増加(↓)	横這(↑)	減少(↓)	増加(↑)	横這(↑)	減少(↓)	増加(↑)	横這(↑)	減少(↓)	増加(↑)	横這(↑)	減少(↓)
生産・売上高	23.7%	25.3%	49.0%	43.6%	27.4%	30.7%	27.8%	24.9%	35.7%	30.2%	36.5%	42.7%
製品単価	上昇(↑)	不変(↓)	下落(↑)	上昇(↑)	不変(→)	下落(→)	29.5%	22.2%	67.6%	75.6%	2.5%	1.3%
採算	好転(↓)	横這(↑)	悪化(→)	好転(↑)	横這(→)	悪化(→)	12.0%	17.8%	58.5%	52.9%	28.6%	28.9%
所定外労働時間	増加(↓)	横這(↑)	減少(↓)	増加(↓)	横這(↑)	減少(↓)	11.6%	12.9%	68.5%	61.8%	18.3%	24.9%
製品在庫	増加(→)	不変(↑)	減少(↓)	増加(↓)	不変(↑)	減少(↑)	14.5%	13.8%	69.7%	65.3%	15.4%	20.0%
材料原料単価	上昇(↓)	横這(↑)	下落(→)	上昇(→)	横這(→)	下落(→)	56.8%	62.2%	42.3%	36.9%	0.4%	0.4%
総合判断	好転(↓)	横這(↑)	悪化(→)	好転(→)	横這(↑)	悪化(↓)	10.0%	14.2%	60.2%	56.0%	28.2%	28.4%
来期の見通し	好転(→)	横這(↑)	悪化(↓)	好転(→)	横這(↑)	悪化(↓)	13.7%	13.8%	63.5%	59.6%	17.4%	24.0%

5. 当面の経営上の問題点(%)

※網掛けの数字は前回アンケート(2024年4～6月期)の結果です。

売上不振	輸出不振	製品単価安	取引条件悪化	過当競争	輸入品との競争
39.4%	41.3%	1.2%	1.3%	27.4%	29.8%
3.3%	3.1%	7.5%	6.2%	2.1%	0.9%
流通経費増大	原材料高	借入負担増	銀行の貸渋り	人件費高	採用難
15.8%	17.8%	54.4%	64.0%	7.9%	8.0%
0.0%	0.4%	54.4%	45.8%	44.8%	38.7%
技能者不足	技術力不足	マーケティング力不足	設備過剰	法的規制	為替問題
25.3%	21.8%	7.5%	9.8%	5.8%	5.8%
0.8%	0.4%	0.8%	3.6%	6.6%	10.7%
環境問題	人材育成	研究開発	事業承継	その他	
4.1%	4.0%	39.0%	33.3%	3.3%	4.9%
3.3%	4.0%	2.1%	3.1%		

5.当面の経営上の問題点におけるその他の意見

- ・人手不足
- ・動力光熱費高
- ・価格(単価)改定交渉
- ・価格転嫁
- ・電力費アップ
- ・設備の老朽化
- ・車関係の部品の不振がひどい
- ・光熱費の負担増

○その他の意見がありましたら具体的にお書き下さい

- ・海外から輸入の場合、100%前金の為キツイ。円安の件もあり売り上げも厳しい。売上が前金であればうまく回転できる。
- ・環境対応樹脂で INJ 用途の需要が少ない、また焼けやすく、炭化物が多数発生するので、食品用途で使用する場合問題になる。プラスチック使用量を削減の影響か受注量が減っているので、これらの問題を解決する必要があると思います。
- ・5月～7月は受注量が上向いたが、8月頃から低迷。今後については不透明である。
- ・人財育成、組織のルールを厳守させる守りの経営が続いていますが、いつかは反転できるはず。
- ・原材料の供給に今後不安があります。(不採算により、特定グレード等廃番等)そのあたりについて、他業種の情報など知りたいです。
- ・年配者が若者を指導するにあたり、仕事の教え方がいわゆる昭和的になり、ハラスメントとなりかねない事態がしばしば見受けられる事が心配材料。
- ・自動車業界は先々の不透明感が大きく、メーカーはその情報を明らかにしない、この先不安大である。
- ・自動車部品以外の客先の中で材料費、エネルギー費、労務費に対する価格転嫁に至ってないところが数社あります。エンドユーザー含め各客先は経済産業省からの通達を認識しているのか甚だ疑問です。
- ・外国人の特定技能1号・2号の認定を出入国在留管理庁は、企業の現況事実に基づいて内容の見直しをして頂きたい。
- ・商品の動きが非常に悪く、受注が少ない
- ・大企業との格差が広がるのは深刻
- ・自動車メーカー様の生産数量が減少しており、(企画台数比)売り上げ不振
- ・製品値上げ申請を無条件で受け付ける客先の体制、下請法の見直し
- ・材料費、光熱費、副資材費がどんどん値上がりして吸収しきれなくなっている

各分類ごとの業況判断(2024年7～9月期 前期比)

数字は前期比で、単純平均%で表示しております
 傾向がわかるように、値が50%以上の場合は網掛けを行っております

団体別	①生産高・売上高			②製品単価			③採算			④所定外労働時間			⑤製品在庫			⑥材料原料単価			⑦総合判断			⑧来期の見通し		
	増加	横這	減少	上昇	不変	下落	好転	横這	悪化	増加	横這	減少	増加	不変	減少	上昇	横這	下落	好転	横這	悪化	好転	横這	悪化
東日本	11.4%	55.7%	32.9%	22.9%	72.9%	2.9%	10.0%	60.0%	28.6%	11.4%	62.9%	22.9%	21.4%	55.7%	21.4%	61.4%	37.1%	0.0%	2.9%	68.6%	27.1%	15.7%	58.6%	18.6%
中部日本	29.6%	44.4%	25.9%	23.5%	74.1%	2.5%	9.9%	64.2%	25.9%	12.3%	71.6%	14.8%	8.6%	80.2%	11.1%	48.1%	51.9%	0.0%	9.9%	61.7%	27.2%	12.3%	67.9%	18.5%
西日本	27.8%	47.8%	24.4%	40.0%	57.8%	2.2%	15.6%	52.2%	31.1%	11.1%	70.0%	17.8%	14.4%	71.1%	14.4%	61.1%	37.8%	1.1%	15.6%	52.2%	30.0%	13.3%	63.3%	15.6%
製品別	増加	横這	減少	上昇	不変	下落	好転	横這	悪化	増加	横這	減少	増加	不変	減少	上昇	横這	下落	好転	横這	悪化	好転	横這	悪化
日用品・雑貨類	20.8%	41.7%	37.5%	20.8%	79.2%	0.0%	4.2%	58.3%	37.5%	4.2%	75.0%	16.7%	20.8%	66.7%	12.5%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	58.3%	33.3%	0.0%	50.0%	29.2%
包装容器・キヤップ	34.6%	38.5%	26.9%	53.8%	42.3%	3.8%	23.1%	46.2%	30.8%	19.2%	73.1%	7.7%	30.8%	53.8%	15.4%	73.1%	26.9%	0.0%	19.2%	46.2%	34.6%	15.4%	61.5%	15.4%
電気・電子・通信部品	10.3%	62.1%	27.6%	24.1%	72.4%	3.4%	17.2%	58.6%	24.1%	13.8%	62.1%	24.1%	3.4%	75.9%	20.7%	65.5%	34.5%	0.0%	6.9%	72.4%	20.7%	17.2%	62.1%	17.2%
自動車	27.3%	51.5%	21.2%	27.3%	69.7%	3.0%	13.1%	67.7%	19.2%	14.1%	67.7%	17.2%	11.1%	74.7%	14.1%	45.5%	53.5%	1.0%	14.1%	63.6%	21.2%	19.2%	65.7%	14.1%
住宅関連	11.8%	47.1%	41.2%	41.2%	52.9%	5.9%	5.9%	47.1%	47.1%	11.8%	58.8%	29.4%	17.6%	52.9%	29.4%	52.9%	47.1%	0.0%	5.9%	52.9%	41.2%	5.9%	58.8%	23.5%
医療機器	0.0%	100.0%	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%
その他	29.4%	38.2%	32.4%	26.5%	73.5%	0.0%	5.9%	55.9%	38.2%	2.9%	73.5%	20.6%	14.7%	73.5%	11.8%	55.9%	44.1%	0.0%	5.9%	58.8%	35.3%	8.8%	70.6%	17.6%
人数別	増加	横這	減少	上昇	不変	下落	好転	横這	悪化	増加	横這	減少	増加	不変	減少	上昇	横這	下落	好転	横這	悪化	好転	横這	悪化
20人以下	24.4%	46.7%	28.9%	24.4%	66.7%	8.9%	17.8%	55.6%	26.7%	8.9%	68.9%	20.0%	6.7%	73.3%	20.0%	62.2%	37.8%	0.0%	15.6%	55.6%	28.9%	13.3%	51.1%	26.7%
21～50人	23.1%	44.6%	32.3%	26.2%	70.8%	3.1%	9.2%	55.4%	35.4%	6.2%	70.8%	23.1%	12.3%	66.2%	21.5%	66.2%	33.8%	0.0%	6.2%	58.5%	33.8%	13.8%	61.5%	15.4%
51～100人	22.0%	45.8%	32.2%	28.8%	71.2%	0.0%	10.2%	62.7%	27.1%	15.3%	71.2%	11.9%	22.0%	62.7%	15.3%	47.5%	50.8%	1.7%	11.9%	55.9%	30.5%	16.9%	67.8%	13.6%
101～300人	31.0%	50.0%	19.0%	38.1%	61.9%	0.0%	16.7%	57.1%	23.8%	11.9%	61.9%	23.8%	19.0%	73.8%	7.1%	52.4%	47.6%	0.0%	11.9%	64.3%	21.4%	16.7%	64.3%	19.0%
301人以上	25.0%	68.8%	6.3%	50.0%	43.8%	0.0%	6.3%	75.0%	12.5%	25.0%	68.8%	0.0%	12.5%	75.0%	6.3%	56.3%	37.5%	0.0%	6.3%	75.0%	12.5%	6.3%	81.3%	6.3%

各分類ごとの業況判断(2024年7～9月期 前年同期比)

数字は前年比で、単純平均%で表示しております
傾向がわかるように、値が50%以上の場合は網掛けを行っております

団 thể別	①生産高 ・売上高			②製品単価			③採算			④所定外 労働時間			⑤製品在庫			⑥材料 原単価			⑦総合判断		
	増加	横這	減少	上昇	不変	下落	好転	横這	悪化	増加	横這	減少	増加	不変	減少	上昇	横這	下落	好転	横這	悪化
東日本	24.3%	40.0%	35.7%	34.3%	60.0%	4.3%	22.9%	44.3%	31.4%	12.9%	64.3%	20.0%	21.4%	54.3%	22.9%	71.4%	27.1%	0.0%	15.7%	51.4%	30.0%
中部日本	28.4%	34.6%	37.0%	43.2%	55.6%	1.2%	22.2%	46.9%	30.9%	16.0%	59.3%	23.5%	11.1%	71.6%	17.3%	60.5%	37.0%	2.5%	19.8%	49.4%	30.9%
西日本	30.0%	33.3%	36.7%	54.4%	44.4%	1.1%	22.2%	40.0%	36.7%	12.2%	70.0%	17.8%	16.7%	67.8%	15.6%	75.6%	22.2%	2.2%	21.1%	41.1%	36.7%

製品別	増加	横這	減少	上昇	不変	下落	好転	横這	悪化	増加	横這	減少	増加	不変	減少	上昇	横這	下落	好転	横這	悪化
	日用品・雑貨類	25.0%	29.2%	45.8%	54.2%	45.8%	0.0%	12.5%	33.3%	54.2%	0.0%	79.2%	16.7%	20.8%	50.0%	29.2%	91.7%	8.3%	0.0%	16.7%	29.2%
包装容器・キヤップ	34.6%	46.2%	19.2%	65.4%	26.9%	7.7%	34.6%	46.2%	19.2%	26.9%	65.4%	7.7%	30.8%	53.8%	15.4%	84.6%	11.5%	3.8%	34.6%	38.5%	26.9%
電気・電子・通信部品	17.2%	37.9%	44.8%	37.9%	62.1%	0.0%	27.6%	37.9%	34.5%	10.3%	58.6%	31.0%	6.9%	65.5%	27.6%	65.5%	31.0%	3.4%	10.3%	58.6%	31.0%
自動車	26.3%	34.3%	39.4%	40.4%	57.6%	2.0%	22.2%	46.5%	31.3%	16.2%	63.6%	20.2%	13.1%	70.7%	16.2%	59.6%	39.4%	1.0%	19.2%	47.5%	32.3%
住宅関連	35.3%	35.3%	29.4%	47.1%	47.1%	5.9%	29.4%	41.2%	29.4%	17.6%	52.9%	29.4%	11.8%	52.9%	35.3%	52.9%	41.2%	5.9%	29.4%	41.2%	29.4%
医療機器	40.0%	60.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%
その他	29.4%	35.3%	35.3%	44.1%	55.9%	0.0%	14.7%	47.1%	38.2%	8.8%	67.6%	20.6%	17.6%	79.4%	2.9%	82.4%	17.6%	0.0%	11.8%	55.9%	32.4%

人数別	増加	横這	減少	上昇	不変	下落	好転	横這	悪化	増加	横這	減少	増加	不変	減少	上昇	横這	下落	好転	横這	悪化
	20人以下	22.2%	31.1%	46.7%	40.0%	51.1%	8.9%	24.4%	37.8%	37.8%	8.9%	68.9%	22.2%	6.7%	71.1%	22.2%	60.0%	37.8%	2.2%	20.0%	44.4%
21～50人	21.5%	43.1%	35.4%	33.8%	64.6%	1.5%	15.4%	46.2%	38.5%	6.2%	70.8%	23.1%	13.8%	63.1%	23.1%	70.8%	27.7%	1.5%	13.8%	52.3%	32.3%
51～100人	28.8%	28.8%	42.4%	45.8%	54.2%	0.0%	27.1%	40.7%	32.2%	22.0%	59.3%	16.9%	25.4%	61.0%	13.6%	71.2%	27.1%	1.7%	22.0%	39.0%	39.0%
101～300人	35.7%	38.1%	26.2%	59.5%	40.5%	0.0%	33.3%	42.9%	21.4%	14.3%	57.1%	26.2%	16.7%	66.7%	16.7%	73.8%	23.8%	2.4%	23.8%	50.0%	23.8%
301人以上	31.3%	43.8%	25.0%	75.0%	18.8%	0.0%	6.3%	56.3%	31.3%	25.0%	62.5%	6.3%	12.5%	68.8%	12.5%	68.8%	25.0%	0.0%	12.5%	43.8%	37.5%

全体および製品別分類ごとの経営上の問題点(2024年7～9月期)

単純平均%で表示しております
傾向がわかるように、値が50%以上の場合は網掛けを行っております

経営上の問題点		売上不振	輸出不振	製品単価安	取引条件悪化	過当競争	輸入品との競合	流通経費増大	原材料高	借入負担増	銀行の貸渋り	人件費高	採用難	技能者不足	技術力不足	マーケティング力不足	設備過剰	法的規制	為替問題	環境問題	人材育成	研究開発	事業継承
製品別																							
日用品・雑貨類		54.2%	8.3%	20.8%	8.3%	0.0%	0.0%	16.7%	100.0%	8.3%	0.0%	50.0%	33.3%	12.5%	12.5%	8.3%	4.2%	8.3%	20.8%	12.5%	37.5%	8.3%	8.3%
包装容器・キヤップ		38.5%	0.0%	15.4%	0.0%	3.8%	0.0%	11.5%	65.4%	3.8%	0.0%	61.5%	76.9%	19.2%	7.7%	7.7%	0.0%	3.8%	11.5%	7.7%	38.5%	0.0%	3.8%
電気・電子・通信部品		44.8%	0.0%	27.6%	6.9%	10.3%	3.4%	17.2%	58.6%	6.9%	0.0%	44.8%	37.9%	27.6%	17.2%	3.4%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	44.8%	10.3%	6.9%
自動車		41.4%	2.0%	35.4%	2.0%	12.1%	0.0%	14.1%	40.4%	10.1%	0.0%	61.6%	42.4%	27.3%	4.0%	4.0%	2.0%	0.0%	2.0%	3.0%	36.4%	1.0%	2.0%
住宅関連		35.3%	0.0%	35.3%	11.8%	0.0%	5.9%	23.5%	58.8%	5.9%	0.0%	47.1%	52.9%	11.8%	5.9%	11.8%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	29.4%	5.9%	5.9%
医療機器		20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	60.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%
その他		32.4%	0.0%	20.6%	2.9%	5.9%	5.9%	23.5%	50.0%	8.8%	0.0%	38.2%	35.3%	32.4%	5.9%	8.8%	0.0%	0.0%	11.8%	8.8%	41.2%	5.9%	2.9%
人数別																							
20人以下		46.7%	2.2%	31.1%	6.7%	11.1%	4.4%	22.2%	53.3%	8.9%	0.0%	48.9%	17.8%	13.3%	6.7%	2.2%	2.2%	2.2%	11.1%	2.2%	17.8%	2.2%	4.4%
21～50人		40.0%	0.0%	33.8%	6.2%	1.5%	3.1%	12.3%	58.5%	10.8%	0.0%	55.4%	35.4%	26.2%	6.2%	6.2%	0.0%	1.5%	7.7%	9.2%	38.5%	3.1%	1.5%
51～100人		42.4%	0.0%	20.3%	0.0%	10.2%	0.0%	18.6%	49.2%	6.8%	0.0%	57.6%	50.8%	23.7%	11.9%	8.5%	0.0%	0.0%	1.7%	3.4%	52.5%	6.8%	6.8%
101～300人		26.2%	2.4%	31.0%	2.4%	4.8%	0.0%	19.0%	57.1%	9.5%	0.0%	54.8%	66.7%	35.7%	2.4%	7.1%	2.4%	0.0%	0.0%	2.4%	42.9%	2.4%	2.4%
301人以上		43.8%	6.3%	18.8%	0.0%	12.5%	6.3%	0.0%	56.3%	0.0%	0.0%	43.8%	75.0%	31.3%	6.3%	6.3%	0.0%	0.0%	18.8%	0.0%	31.3%	0.0%	0.0%

○「特定技能にかかる緊急アンケート」結果

設問 1.「技能実習」資格により外国人を受け入れておられますか

(単位:社)

	東日本	中部日本	西日本	合計
はい	19	44	28	91
いいえ	43	40	46	129

設問 2.(設問 1 で「はい」と回答した方のみ)現在受け入れている技能実習生について、技能時終了後「特定技能」資格により受け入れる事を希望されますか

(単位:社)

	東日本	中部日本	西日本	合計
希望する	15	28	15	58
希望しない	1	2	5	8
今後検討	3	14	8	25

設問 3.(設問 2 で「希望する」と回答した方のみ)特定技能に移行させたい技能実習生は何人でしょうか

1 人	2 社	2 人	9 社	2~3 人	1 社
3 人	11 社	4 人	8 社	5 人	2 社
6 人	6 社	8 人	1 社	9 人	1 社
10 人	4 社	15 人	3 社	20 人	2 社
30 人	1 社	50 人	3 社	60 人	1 社
100 人	1 社				

設問 4. 何かご希望の点がありましたらご記入ください

- ・特定技能になるための条件が厳しいと思います。浅い経験年数でプラスチック技能検定をどれ程合格者出せるでしょう？日本人でも楽ではないものを言葉でハンデのある外国人には厳しいことではないかと感じました。規制を緩和しませんと、労働力の確保は難しいと思います。
- ・射出成形と違い押出(異形)成形は、業種として認めてもらえず、該当しないと思います。
- ・特定技能で在留している間に、本人が一時帰国を希望する、本人が年金等の脱退一時金を取得したいと希望、などという事例があり、その際の対応マニュアル的なものを作っていただきたい。
- ・既に移行している。現在人数は 3 人、過去は 2 人。
- ・人手不足の現状から外国人の労働力は必要であり、技能実習生も企業も Wiin-Wiin でなければいけない
- ・中間の送り出し企業と受け入れ企業の質向上が必要。
- ・人口減少が進む一方なので、外国人労働者の受け入れをより緩和し、労働力を確保していく事が重要と思う。
- ・今後の採用状況いかんで「特定技能」で受け入れる必要にせまられるかもしれないので、情報等を発信し続けて頂きたい。
- ・特定技能に関する詳細な情報が欲しい。HP、冊子等あれば紹介して下さい。
- ・人数は増加の見込みがあります。
- ・育成就労制度の動向により、特定技能資格者の受入れを検討する。
- ・特定 1 号認定は実習終了後に移行がスムーズですが、特定 2 号認定は評価試験の学科(ビジネスキャリア 3 級)を合格するのに難関であるので、1 号と同じく 2 号の学科試験問題を業界の作成委員会で作って試験をする事を強く要望します。
- ・とにかく安定的に 5 年以上働いてくれれば受け入れる
- ・ベトナム人技能実習生を 2025 年より受入検討したいと考えている。
- ・現地に子会社を持っており、日本⇄ベトナム間で人材育成・交流を活発化させたい。
- ・弊社はミャンマーの実習生を採用していますが、自分の国より安全の点で希望されています。